

「園芸導入事例」、「支援事業」、「研修案内」など紹介します

1億円産地を目指して!

令和元年7月に策定された「新潟県園芸振興基本戦略」に基づき、園芸生産拡大に向けた取り組みを関係機関一体となって推進しています。

今回は、市内JAが掲げた「産地育成計画」の品目の中から、「ほうれん草」を作っている農家さんを紹介します!

○栽培農家さんに聞きました! ~ほうれん草編~

*きっかけを教えてください

某雑誌の掲載記事を見て、「これだ!」と直感しました。県外までほうれん草の栽培方法を学びに行き試行錯誤を繰り返しました。軌道に乗るまで時間はかかりましたが、今では高い収入を得ることができています。自分が作ったほうれん草を美味しいと言ってもらったり、自分の名前がブランドとしてたくさんの方が買い求めてくれるようになったりしたことで自信がつかしました。



*どんな人が向いていますか?

手間を惜しまない人ですね。1年を通して栽培することができるので、常に向上心と探求心を持っていると良いと思います。

*今後の目標をお願いします

ほうれん草は時期を逃すと二束三文になってしまうので、自分の力量を考えて安定的に作っていきたいです。

また、自分の技術をよりたくさんの人に広めていきたいです。

*留意点やコツは?

ほうれん草の品種は100種類くらいあるので、その中から品種を見極め、季節に適したものを作ることです。また、品種だけでなくメーカーも選んでいるので、新しいものが出たらチャレンジしています。

あとは、土づくりも大事です。トウモロコシを鋤き込んだものを堆肥の代わりに入れていますし、ゆうきの子(堆肥)も使用しています。また、3年に1回はからし菜を栽培して土壌改良に努めています。作り方によっては葉の厚さも変わってきます。照りがあり、葉が厚いものほど味も見ためも美しいほうれん草になります。

生産者メモ

齋藤 剛さん(74歳・笹神地区)

35年前、1棟のハウスから始めた園芸は今では10棟にまで規模を拡大。ほうれん草をはじめ、トマトやナスなど1年を通して季節の野菜を栽培しています。

出荷先:主に市内の直売所、スーパー
従業員:パート2人

○齋藤さんの作業スケジュール

○:播種、■:収穫

作型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ほうれん草			○	■	○	■	○	■	○	■	○	■



緊急

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた生産者の皆さまへ

高収益作物次期作支援交付金のご案内

新型コロナウイルスの発生により売上が減少するなどの影響を受けた高収益作物（野菜、花き、果樹、きのこなど）について、次期作に前向きに取り組む農業者に対し支援を行います。

支援対象となる生産者

令和2年2月～4月の間、高収益作物について出荷実績があるまたは廃棄等により出荷できなかった農業者

支援メニューおよび交付額

ただし、施設花き等は 80 万円/10a、

① 需要対応生産支援(5万円/10a) 果樹は 25 万円/10a

高収益作物の次期作において、次の取組を2つ実施することが要件です。

① 機械化体系の導入	⑤ かん水設備等の導入
② 集出荷経費の削減に資する資材の導入	⑥ 土壌改良・排水対策の実施
③ 品目・品種等の導入	⑦ 被害防止技術の導入
④ 肥料・農薬等の導入	⑧ 作業環境の改善、事業継続計画の策定等

② 需要促進支援(2万円/10a、取組ごとに交付)

高収益作物の次期作において、次の取組を1つ以上実施することが要件です。

① 新たに直売等を行うためのHPの環境整備
② 新品種・新技術導入等に向けた取組
③ 海外の残留農薬基準への対応または有機農業、GAP等の取組

③ 厳選出荷支援(1人1日あたり2,200円)

<申請先> **JA組合員は所属するJAへ、それ以外は市農林課へ**

<申請期限> **令和2年7月17日(金)**

※詳細は農林水産省のホームページにも掲載されています。 [農林水産省](#) [高収益](#) [検索](#)

★JA・農林課・普及センターでは、さまざまな品目の栽培指導や支援を行うなど、園芸生産をサポートしています。

ご興味がある方は下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

○JA北蒲みなみ 営農センター(樋口・小林)TEL62-2235

○JAささかみ 本所営農課(石山)TEL25-7252

○新発田農業普及指導センター(野菜)TEL0254-26-9126、(花・果樹)TEL0254-26-9155

○阿賀野市農林課農林振興係(直通)TEL61-2478